



先週
の
ドル
円

Source: CQG, Inc. © 2006 All rights reserved worldwide.

先週
の
相場
概況

3日

ドル円は世界的な貿易戦争への懸念を背景に売りが先行した後、欧州時間には底堅い株価を横目に108.45円まで持ち直した。ただ、ブラドミセントルイス連銀総裁が「近く利下げが適切になる可能性がある」と述べると売りが優勢となり、一時107.88円まで一転下落した。

4日

アジア時間にドル円は107.85円まで下げたものの、NY時間に入ると中国やメキシコ側が米国との貿易交渉について楽観的な見解を示すと株価の反発と米長期金利の上昇とともに108.36円まで切り返した。

5日

5月ADP全米雇用報告が大幅に悪化したことが伝わるとドル円は一時107.82円と1月10日以来の安値まで売り込まれた。もっとも、米国側が「追加関税は回避される可能性」を指摘すると108.49円まで買い戻された。

6日

朝方に「米国とメキシコは移民・関税を巡る協議で合意できなかった」との報道が伝わるとドル円はリスク回避の売りが先行。前週分の米新規失業保険申請件数が予想よりも弱い内容だったことも売りを促し、一時108.03円まで値を下げた。ただ、「米国はメキシコへの関税適用先送りを検討している」との報道で状況は一変し、一時108.56円まで反発した。

7日

5月米雇用統計で非農業部門雇用者数や平均時給が予想より弱い内容だったことでドル円は売りが強まり、一時107.88円まで下落した。ただ、週末を前に一巡後はショートカバーが入り、108円台前半まで下げ渋っている。

総括

先週のドル円は方向感がなかった。引き続き米国とメキシコによる協議の行方を見極めながらの推移となった。また、米雇用指標の悪化を受けて先週は2度にわたり107.80円台を探る動きを見せたが、いずれも107.70円台のサポートを割り込めず、反発している。一方、上値も限られるなど108円台を中心に狭い値幅で上下する展開だった。

先週の注目された経済指標結果

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値	結果
3日	23:00	月	USD	ISM製造業景気指数	*	5月	52.8		53.0	52.1
4日	13:30	火	AUD	RBA政策金利	*	*	1.50%		1.25%	1.25%
5日	21:15	水	USD	ADP雇用統計	前月比	5月	27.5万人	27.1万人	18.0万人	2.7万人
5日	23:00	水	USD	ISM非製造業指数	*	5月	55.5		55.5	56.9
6日	20:45	木	EUR	ECB政策金利	*	*	0.00%		0.00%	0.00%
7日	21:30	金	CAD	新規雇用者数	*	5月	10.65万人		0.80万人	2.77万人
7日	21:30	金	USD	NFP	前月比	5月	26.3万人	22.4万人	18.5万人	7.5万人

一言コメント・・・5日のADP雇用リポートが予想を大きく下回ったことをきっかけに米利下げ観測が強まりドル売りが優勢となりました。週末の米雇用統計も低調となったことでドル売りに拍車がかかりドル全面安の展開に。一方で、米利下げ期待の高まりで米国株は堅調に推移しました。

先週の注目された要人発言

4日02:27 ブラード米セントルイス連銀総裁「近く利下げが適切になる可能性」
 4日18:36 ロウRBA総裁「さらなる利下げが妥当ではないとは言えない」「金利の動向について理事会はまだ決定していない。労働市場次第」
 4日21:21 ロペス・オブラドール・メキシコ大統領「10日の関税発動を前に米国と合意に至るだろう」
 4日22:17 トランプ米大統領「来週、メキシコからの輸入品すべてに5%の追加関税を課すだろう」
 4日23:05 パウエルFRB議長「FRBは貿易動向の影響を注視する」「FRBは景気拡大の維持のため適切に行動する」
 5日22:11 ブレイナードFRB理事「成長維持のため政策を調整する用意はある」
 5日22:40 ナバロ米大統領補佐官(通商担当)「対メキシコ関税発動は必要ない可能性」
 6日00:41 米上院財政委員会のグラスリー委員長「6日にメキシコと関税について合意する見通し」「米国はメキシコに関税を課さない見通し」
 6日07:47 トランプ米大統領「メキシコとの協議で進展はあったが、十分ではない」「必要なら中国に対して新たに3000億ドルの関税を課す可能性」「G20後に中国への関税を決定するだろう」
 6日20:47 ECB声明「少なくとも2020年上半期までは金利を据え置くと予想」
 7日06:08 ペンス米副大統領「現時点では対メキシコ関税の発動は10日」「メキシコとの合意はまだない。協議は継続」
 8日02:21 トランプ米大統領「メキシコと合意する可能性は十分ある」

一言コメント・・・週末にかけては米国とメキシコの貿易摩擦に対する警戒感が和らぎ、世界的に株価が上昇しました。また、米当局者の発言で米利下げ観測が高まったことも株式相場の支援材料となりました。ECB理事会とドラギ総裁の会見は「想定ほどハト派ではなかった」と受け止められ、ユーロ買いが優勢となりました。

今週の経済指標

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値
10日	17:30	月	GBP	GDP	前月比	4月	-0.1%		-0.1%
11日	21:30	火	USD	PPI	前月比	5月	0.2%		0.1%
12日	17:15	水	EUR	ドラギECB総裁講演	*	*	*	*	*
12日	21:30	水	USD	CPI	前月比	5月	0.3%		0.1%
13日	10:30	木	AUD	新規雇用者数	*	5月	2.84万人		1.60万人
13日	16:30	木	CHF	SNB政策金利	*	*	-0.75%		-0.75%
14日	21:30	金	USD	小売売上高	前月比	5月	-0.2%		0.7%

今週の注目は・・・米小売売上高

週刊マーケットアナリシス 会員専用版レポート

会員サイトログイン後のページで
ご確認ください

- 今週のドル円相場見通し
- 今週のGI24コメンテーターの一言
 - 荻野金男
 - 和田仁志
- 今週の注目経済指標
- 今週のテクニカルポイント
- 先週のコメント
 - 今井雅人
 - 越後屋の小言

情報提供元：株式会社DZHフィナンシャルリサーチ

株式会社DZHフィナンシャルリサーチより提供している情報（以下「情報」といいます。）は、情報提供を目的とするものであり、特定通貨の売買や、投資判断ならびに外国為替証拠金取引その他金融商品の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はあくまでお客様ご自身の判断と責任において行ってください。また、予告なしに内容を変更することがありますのでご注意ください。商用目的で情報の内容を第三者へ提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容によって生じた如何なる損害についても、（株）DZHフィナンシャルリサーチは一切の責任を負いません。